放課後等デイサービス事業所における自己評価（公表）

公表：令和６年２月１日　　事業所名：発達支援センター　めばえ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		利用人数に応じて，小グループでの活動や活動室を分散し活動を行っています。	
	②	職員の配置数は適切である	○		基準に基づき，職員を配置しています。	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		段差もなく，バリアフリーとなっております。トイレには手すりも設置しています。	今後、肢体不自由の方のトイレの設備は必要です。
業務改善	④	業務改善を進めるための、ＰＤＣＡサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		毎月，課題検討会・ケース検討会を実施し，業務改善に向けての話し合いや振り返りを行っています。	
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		年に１回保護者向けのアンケートを実施しています。アンケートを基に業務改善に繋げています。	
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		自己評価及び保護者アンケートを集計し改善目標などを周知の上でホームページで公開しています。	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		定期的に第三者評価を受審し，業務の改善に繋げています。	令和４年１２月に受審しました。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		研修に関するアンケートを実施し，年間計画を作成しています。外部の研修にも積極的に参加しています。	
適切な	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		相談支援専門員や学校，専門職等と連携を図り，子どもと保護者のニーズや課題を分析した上で計画を作成しています。	
	⑩	子ども適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		法人で統一したアセスメントツールを使用しています。また，他の発達検査等にも少しずつ取り組んでいます。	

な支援の提供	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		担当者を中心にチーム内で話し合いを行い，月ごとに活動を立案しています。年間の全体での行事予定表についても作成しています。	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		活動内容が固定化しないよう定期的にチーム内で見直しを行っています。施設内外の季節の行事や社会体験など，新しい活動を取り入れています。	
適切な支援の提供	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		平日，休日，長期休暇の利用時間に応じて事前にプログラムを作成し，課題に沿った支援を行っています。	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	○		毎日のプログラム内容と子どもの状況に応じて集団の活動と個別の活動を組み合わせ，個別支援計画に基づいた支援を行っています。	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		担当者を中心に，活動の内容や支援の流れ，役割分担等について，日課計画案を基に事前の確認と情報共有を行っています。	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		支援終了後に職員間での打ち合わせや振り返りを行っています。また，必要に応じて改善策を検討し，実践に繋げています。	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		個別支援計画の支援内容が適切に実行されているかを意識しながら支援を行っており，それに基づいた記録を取っています。また，成功した支援内容なども記録し，支援が適正かを検討しています。	
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		個別支援計画内容について，定期的に本人，保護者と面談を実施し，満足度を確認しながら評価を行っています。関係職員参加のもと，計画の見直しを検討する会議を行っています。	

	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて行っている	○		基本活動を複数取り入れたプログラムを作成し，固定化されない工夫を行っています。	
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		担当者会議には,児童発達支援管理責任者，必要に応じて担当者が出席し，情報提供・交換を行っています。持ち帰った情報は，記録に残し回覧及びケース会議の場で共有しています。	
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○		送迎時に学校の先生と子どもの様子等について情報交換，共有を行っています。また，緊急時や送迎等の変更等がある場合は連絡を取れる体制を整えています。	
関係機関や保護者との連携	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	－	－		医療的ケアが必要な子どもさんは現在通われていませんが，かかりつけ医や主治医等を把握し，緊急時は迅速に対応できるよう職員間で情報共有を行っています。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		相談支援事業所からの情報や移行支援シートを活用し，情報共有を行うようにしています。また，必要に応じて連携を取り，相互理解に努めています。	
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		移行支援シートを作成し，保護者や障害福祉サービス事業所への引継ぎ等を行っています。	
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		松元地区の児童発達支援センターと連携し、合同で研修を実施。また、児童発達支援センター等が主催する公開療育に参加し、意見交換会等で情報共有・助言を受けています。	
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○	障害のない子どもと活動する機会は設けられませんでした。	今後の課題として，どのような形で交流ができるのかを模索し検討していきます。
	㉗	（地域自立支援）協議会などへ積極的に参加している	○		10月に行われた自立支援協議会定例会研修会に職員が参加し、内容を周知しています。	

	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		バス送迎時や連絡帳，電話等で伝えています。また，面談等を活用し，情報の共有や課題等について共通理解ができるように努めています。	
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		保護者や地域の方向けにペアレント・プログラムを計画し，案内や実施をしています。	
保護者への説明責任	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		利用契約の際に，児童発達支援管理責任者より，運営規程・重要事項説明書についての説明を丁寧に行っています。また，変更があった場合は，文書にてお伝えしています。	
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		個別面談時以外にも，相談があれば随時面談の場を設けています。バス送迎の際の会話についても，気になる点は職員間で共有し，ご家族の困り感に気を付けるよう努めています。	
保護者への説明責任	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	現在，父母の会等はありませんが，ペアレントプログラムを通して保護者同志が交流できる機会を設けています。	今後の課題として，保護者同士の交流や親子での活動が実施できるよう検討していきます。
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情受付担当者や解決責任者，第三者委員等の体制を整備し，迅速に対応できるようにしています。また，苦情の内容を職員間で共有し，改善に努めています。	
	㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		法人の広報誌を年3回，施設の月便りを発行し，行事予定や活動内容などを発信しています。また職員の連絡体制は事業所に掲示しています。	
	㉟	個人情報に十分注意している	○		個人情報管理マニュアルを整備し，職員へ周知を行っています。また，契約時に個人情報の取り扱いについて説明を行っています。	

	㊱	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		コミュニケーションにおいては，子どもの障害特性に応じ，ジェスチャーや絵カード，写真等を活用してやりとりができるようにしています。	
	㊲	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	感染症拡大防止のため実施できませんでしたが，例年はイベントや研修，行事等で地域の方々に施設を開放しています。	
非常時等の対応	㊳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		マニュアルを整備し，研修を通して職員へ周知を図っています。非常時のマニュアルは事業所内に掲示しており，来客者がいつでも見れるようにしています。	
	㊴	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		月1回，避難訓練を実施しています。火災・地震・風水害等に合わせて，非常災害計画を作成しています。また，不審者対策訓練と土砂災害訓練を他事業所と合同で取り組んでいます。	
	㊵	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		法人内に人権擁護委員会を設置しています。事業所内でも「人権侵害防止チェックリスト」を活用し権利擁護に努めています。また，職員向けに研修も実施しています。	
非常時等の対応	㊶	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		現在，身体拘束を行う事例はありませんが，法人としてマニュアルが整備され必要時に対応できる体制を整えています。	
	㊷	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		食物アレルギーのある子どもさんについては、医師の指示書に基づいて、栄養士や調理委託業者と密に連携を図り対応しています。	
	㊸	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有してる	○		ヒヤリハット報告書を作成し，事例があった場合は，朝礼や回覧等で全職員への周知を行っています。また，集計し，行動の分析などを行っています。	

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和 6 年 2 月 1 日

事業所名　発達支援センターめばえ　　配布：20世帯　回収：９世帯　回収率：45%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	8	1			・やや狭いような気もします。 ・日頃何人くらいの子どもさんが一部屋で過ごしているか把握していないが、狭い気がする。	・貴重なご意見ありがとうございます。当日の利用人数や年齢、身体状況等を考慮し、活動室を分散したり、廊下や園庭などを活動スペースとして活用したりしています。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	8	1				・職員の配置数については定数を満たしております。また、事業所内外の研修等に参加することで専門性の向上に努めています。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	8	1				・全面バリアフリーとなっており、トイレには手すりも設けてあります。また、必要に応じて写真やイラストを掲示しております。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※１が作成されているか	9					
	⑤	活動プログラム※2が固定化しないよう工夫されているか	9					
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	4		4	・まだコロナやインフル等感染症もあるため難しいのかなと思いますが，少しずつできていけたらと思います。 ・活動があるのか把握していない。	・障害のない子どもと活動する機会は設けられませんでした。感染症対策を行いながら、どのような形で地域との交流が実施できるのか模索・検討してまいりたいと思います。
	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	9					
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	9				・バス送迎の時にも様子をいつもお話して下さりありがとうございます。	・バス送迎時は保護者様と情報交換・共有を行える貴重な時間となっております。送迎時に関わらず電話等でいつでもご相談ください。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	9					・面談や電話連絡、連絡帳を通して、情報の提供、共有を図り、保護者に寄り添った支援を行ってまいります。

保護者への説明等	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	6	1	1	1	・残念ながら日程が合わず参加できなかったのですが機会があれば参加したいです。施設見学には参加させ頂き，とても勉強になりました。ありがとうございました。	・今年度は中高生の保護者様を対象として、法人内の成人施設見学を実施しました。今後も保護者様のご要望を受け、交流や施設見学等を企画実施してまいりたいと思います。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9					・今後もご意見をいただいた際は迅速かつ適切に対応し、子どもさんや保護者様に周知・説明をしっかり行っていきます。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	9					・情報伝達の漏れなどがないよう今後も子どもさんや保護者様との情報交換を丁寧に行っていきます。
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	9					・「れんらくアプリ」を活用し毎月のめばえ便りやお知らせを保護者様へ送信しております。また、行事や日頃の活動の様子等ホームページを定期的に更新しておりますので、ご確認をよろしくお願いいたします。
	⑭	個人情報に十分注意しているか	9					
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	8	1				・各種マニュアルの整備を行い、発生を想定した研修や訓練を実施しています。また、非常災害マニュアル・安全計画は玄関入り口へ配置しいつでも見られるようにしてあります。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	9					・火災や地震、土砂災害等に対応した避難訓練を毎月実施しております。また、不審者対応訓練も行っております。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	8	1				・引き続き、子どもさんが楽しく過ごせるような活動を計画してまいります。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	9				・いつも感謝しております。送迎などでは急な変更にも合わせていただいたりご迷惑をおかけします。 ・平日におやつを提供してほしい。	・うれしいお言葉ありがとうございます。至らない部分もあり、ご心配・ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、職員一丸となってサービスの質の向上に努めてまいります。 　おやつの提供については、様々なご意見を元に今後の検討課題とさせていただきます。